

岡崎市一般廃棄物処理基本計画 《生活排水処理基本計画》

1 基本的事項

計画策定の目的

生活排水処理基本計画は、生活排水をどのような方法でどの程度処理していくかを定めるとともに、生活排水処理を行う過程で発生する污泥等の処理方法等を含めた生活排水処理全般に係る基本方針を定めることで、計画的な生活排水対策を行うことを目的とします。

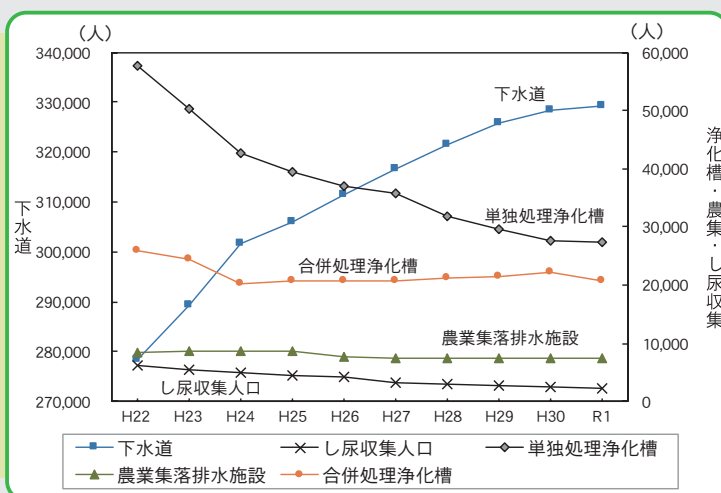
計画の期間

令和3年度から令和9年度まで

2 生活排水処理の現状と課題

現 状

- 処理形態別人口は、浄化槽人口及びし尿収集人口は減少傾向を示しており、下水道人口は増加傾向を示しています。
- 収集運搬量はし尿、浄化槽污泥ともに減少傾向を示しています。



課 題

- 単独処理浄化槽の設置基数が全体の6割近くあり、また、浄化槽の維持管理実施率が低迷していることから、公共用水域への悪影響が懸念されます。
- 下水道が供用開始されている区域内において、未接続世帯が存在しています。
- し尿収集世帯の減少に伴い、収集効率性が悪化し、1世帯当たりの処理コストが増大しています。

3 数値目標

生活排水処理率

令和元年度

92.3%

令和9年度

98%以上

4 目指すべき姿

生活排水処理の課題を解決し、「持続可能な循環型の都市づくり」を実現するため、目指すべき姿を以下のように定めます。

市民・事業者・行政による良好な生活環境の確保

5 基本方針

基本方針

1

地域の実情や事業の採算性を考慮した整備や維持管理の推進

浄化槽の取り組み

- 合併処理浄化槽への転換促進
 - ・汲み取り便槽や単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換促進
- 浄化槽の適切な維持管理の啓発
 - ・浄化槽管理者に対して適正な維持管理の推進
- 浄化槽関係事業者への研修機会の提供
 - ・浄化槽関係事業者に対して維持管理の重要性や実施方法に関する周知啓発、研修機会の提供
- 浄化槽処理促進区域の設定
 - ・合併処理浄化槽への転換や浄化槽の適正な維持管理の促進

下水道・農業集落排水施設の取り組み

- 岡崎市ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の計画的かつ効率的な管理
 - ・リスク評価等を行ったうえで、施設の点検・調査及び修繕・改築等を実施
- 下水道接続率の向上
 - ・下水道への接続を促進
- 最適整備構想に基づく農業集落排水施設の持続的な運営
 - ・施設整備計画をコスト比較し、縦横断的に最適化（同期化、平準化）の実施

その他

- 家庭でできる排水対策の発信
 - ・生活排水対策に関する学習機会の提供や情報発信

基本方針

2

し尿、浄化槽汚泥の安定的かつ効率的な処理体制の整備

し尿の取り組み

- し尿の適正処理の推進
 - ・安定的かつ効率的に処理を進める対応策の検討

し尿処理施設の取り組み

- 搬入量や処理能力、処理コストを見据えた設備改造や処理方式の見直しの検討
 - ・施設のあり方や新たな処理方法等の先進事例の調査研究

